

令和6年度第3回 函南町地域公共交通会議 議事要旨

■会議概要

日 時	令和7年1月21日（火）13：30～15：00
場 所	函南町役場4階特別会議室
内 容	1 開会 2 挨拶 3 議事 （1）函南町地域公共交通計画（案）について（協議） （2）令和7年度函南町拠点循環コミュニティバス事業について（協議） （3）大場函南デマンドタクシー事業について（報告） （4）丹那小学校区高校生の函南中学校スクールバス利用について（報告） （5）その他 4 閉会
配付資料	次第、委員名簿、席次表、計画編、資料編、 資料1 パブリックコメントの意見結果について・函南町地域公共交通計画策定の経過と予定、 資料2 令和7年度函南町拠点循環コミュニティバス事業について、 資料3 大場函南デマンドタクシー事業について、 資料4 丹那小学校区高校生の函南中学校スクールバス利用について
参加者	委員：17名 事務局：5名 委託業者：2名
会の模様	

■議事要旨

(議題1：函南町地域公共交通計画(案)について(協議))

藤井副会長	ただいまのご説明に対しまして、ご質問、ご意見等ございましたら承りたいと思いますが、いかがでございましょうか。
東委員	東海バスの東です。事前に確認しておけばよかったのですが、意見番号22の計画編の2ページに追記していただいた文章ですが、2015年ですとまだ東海バスではなくて、沼津登山東海バスが正式な名称なのですが、その前の2003年も沼津登山東海バスという表記になっていますので、こちらは合わせていただいたほうがいいかなと思います。
藤井副会長	事務局、こちらはよろしいですね。合わせた形の中で統一する形でよろしく願います。
事務局	ありがとうございます。
藤井副会長	そのほかいかがですか。パブリックコメントでかなりの意見をいただいておりますが、その中で計画に反映されるのもありますが、何かお気づきの点があれば、いかがでございましょうか。
山中委員	パブリックコメントを読ませていただくと、圧倒的に多いのは別荘に関わる仕組みについて述べているものがたくさんあるんですね。前回、先生からお伺いした内容では、全国で今一番困っているのは別荘地だと言っているんですね。私も調べてみました。本当に困っているんです。別荘地をどうするか。それは町の覚悟も必要だし、お金も必要です。ですから、我々町民代表はこれで終わりですから、次の回以降に別荘地に関わる議論をやっていただければ大変ありがたいと思うのですが、いかがですか。
藤井副会長	事務局から回答する前にといいところですが、私も別荘地について、特に伊豆の中で起きている問題という形で伊東市さんの例を挙げたと思っておりますが、1980年代当時に開発されたところを中心として、別荘地が今別荘地でなくなってきているといったところがある。これは都心で仕事をしていた方たちが終の棲家として別荘に戻ってきて、そこが住民という形の中で生活をする。管理主体がしっかりしているところは、別荘地というのはそもそもが住まいということではなくて、余暇、遊びとか楽しむ空間ですので、移動そのものは管理主体がきちんとやる、これが本来の姿でございます。そこに行政が関わるということはまずないんですね。 それが、管理主体が経営難になって全然動いていないような別荘地が出始めてきた。あるいは伊東市さんの中でも特に起きてきたのは、コロナ以降という形の中で、都内に住んでいた家族が子育てをしながら戻ってきた。そうなってくると小学校、中学校に通う子どもたちが別荘に住まうようになってきた。そうしてきたときに、教育委員会を含めてその移送はどうするのかといったところが別荘地問題の中で顕在化してきたといったところで、これがすべての別荘地に当てはまるものではないということでございます。 管理主体がしっかりしているところであれば、きちんと担っていただくというのが本来の姿だと思いますが、そこは脆弱性を持ってきているようになってくる。それ

	<p>から、住まわれている方たちも高齢化が進んできて、なかなか移動そのものが非常に難しくなっている別荘地も他のところではございます。そういったときに、今の公共交通計画の中では本来交通軸としては通常入れないのですが、ダイヤランドをその1つの路線として入れ込んでいった中で考えていきますので、安定的な運営ができていくかどうか、こういったところは事務局のほうでも確認していくようなアプローチは取っていかないといけないかなと思っています。私がつないでいる間に事務局は何か考えましたか。</p>
事務局	<p>副会長からご意見をいただいたところで、私たちのほうもしっかり研究をしていかなければいけないかなと思っております。ダイヤランド事務所からも定期的にご相談をいただいております。現状も把握はしてございます。ただ、函南町としては、各地域からの自主性を持った公共交通を推奨しているところもありますので、今後しっかりダイヤランド事務所、ダイヤランド区も含め、話をしていければと考えております。</p>
藤井副会長	<p>よろしゅうございますか。そのほかいかがでしょうか。よろしいですか。 それで、先ほど事務局よりご説明がございました今後の計画の予定といったところで、この後、文言修正とか丁寧に見ていただいて、誤字脱字がない形、そういったところを確認していただいた上で庁内会議にかけていただいて、3月の策定に向かっていただきたいと思っております。そういう形で皆様方、よろしゅうございますか。どうもありがとうございました。 それでは、協議事項の1点目は以上とさせていただきます。</p>
事務局	<p>「あゆみ」の1行目のところの沼津登山東海バス、この文面でそのまま変更して大丈夫ですか。ありがとうございます。 もう1つですが、パブリックコメントのところで、40ページとさせていただいたのですが、計画編は41ページでございました。パブリックコメントをしているときに出していた計画編に関しては40ページだったのですが、その後、修正等をさせていただきまして1ページずれてしまった形になりましたので、40ページとなっておりますが、今回お配りしている計画編では41ページとなっておりますので、ご了承いただければと思います。</p>

(議題2：令和7年度函南町拠点循環コミュニティバス事業について(協議))

藤井副会長	<p>それでは、委員の皆様方からご質問、ご意見等がございましたら承りたいと思えます。いかがでございましょうか。</p>
植田委員	<p>静岡運輸支局の植田と申します。我々国土交通行政にご理解、ご協力のほど感謝申し上げます。 私からの質問ですが、資料2の5番の運行車両ですが、現在使用しているジャンボタクシーは例えば車いすの人が利用可能なのか、バリアフリーの車両なのかということと、もし車いすの人が利用できない場合、代替え措置はどのように考えていらっしゃるかの2点になります。お願いいたします。</p>
事務局	<p>バリアフリーについては私のほうで把握できてございません。申し訳ございません。</p>

鈴木委員	<p>函南タクシーの鈴木と申します。日ごろより交通行政全般に関しましてお世話になり感謝申し上げます。</p> <p>バリアフリーの対応につきましては、ジャンボタクシーの車両についてはバリアフリーの対応はできておりません。ただ、ご質問のあったとおり、車いすの方も利用されるということは十分想定が考えられますので、事前に申し込みの際にお電話をいただければ、代替えという形で小型のバリアフリー対応車両をご用意する準備はございます。</p> <p>ただ、基本、これは予約制ではありませんので、もしそういう事案が発生すれば、乗務員より会社に連絡が来て、会社からバリアフリー対応の車両を用意するという形になろうかと思えます。事前に電話をいただければそのような準備はさせていただきます。以上です。</p>
藤井副会長	<p>よろしゅうございますか。ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。</p>
山中委員	<p>運賃を 200 円から 300 円にしますというお話ですが、前回も出ましたが、収支率をどのぐらいを目指すのかということと、200 円から 300 円にした根拠、根本の理由を教えてくださいませんか。</p>
事務局	<p>資料の 12 ページに収支率を載せさせていただいております。令和 3 年から 6 年までで収支率が 9~12% ぐらいまで上がっていたのですが、今年度は 5.37 という結果となっております。</p> <p>ただし、収支率を求めての運行ではないと私たちは思っていますが、実際にこれだけ減ってしまっているところは要因の 1 つとは考えてございます。</p> <p>1 日当たりの利用者数につきましても、今まで 23.1、24.5、23.6 と推移していたのですが、こちらが 17.0 まで減ってしまっているところもございます。</p> <p>また、委託費についてですが、昨今、燃料の高騰や人件費の高騰がありますので、今回この委託費になるのですが、4 カ月のところでやらせていただいてこの金額となっておりますので、これからどんどん委託費自体も増えていくなというところもある中、今回 200 円から 300 円に踏み切ったような形となっております。以上です。</p>
山中委員	<p>200 円から 300 円はわかりました。</p> <p>停留所の変更もあります。この辺の情報提供を町民の皆さんにどのように伝えていかれるのか、計画を教えてくださいたいというのが 1 点。</p> <p>それからもう 1 つ、2 ページの 13 番の今後について、一部デマンド化を検討している。デマンド化というのはどういうイメージなのか教えてくださいませんか。</p>
事務局	<p>周知についてですが、今回ここで承認がいただけましたら、3 月の 1 カ月間は周知できるように努めていきたいと思っております。ホームページや安心情報メール、またバス停に直接貼るような形をさせていただきまして、広報にも載せて変更の周知をしていきたいと考えております。</p> <p>また、一部デマンド化についてですが、こちらのほうも、休日について利用者数が少なくなっているところもありましたので、今回思い切ってルートの変更をさせていただきました。ただ、この中でもかなり少なくなったり、今まで多いのがわかき共同作業所とか柏谷公園のところから仁田駅に向かう、または帰るとい</p>

	<p>うところの利用者数が多かったので、仁田駅より西側といいますか、道の駅のほうに向かうところも含めて、そのような場所のデマンド化、休日のみのデマンド化など、いろいろなデマンド化をこれからデータを取りながら参考にしてこの1年間検討できればと考えております。</p>
<p>藤井副会長</p>	<p>そのほかいかがでございますか。</p> <p>現在実証運行という形で、その中でより町民の方たちが利用できる仕組みに変えていって本格にするかどうか、そういったところを議論していくと。その際に、山中委員からご質問がございました収支率とかそういったところをどこに目標を置いているのか。回答の中では収支率単独で評価をするものではないと言ったとしても、健全な経営ということは考えなければいけない1つの指標ではある。そういったときに今回の利用回数を増やしてサービスレベルを上げて町民が利用していく、そういったところが具体的に路線として機能していくかどうかをきちんと丁寧に評価していかなければいけない。</p> <p>それから、バス停がなくなった方たち、少なくとも一定程度いらっしゃることは間違いない。そういう方たちの移動がどう担保されるかということも事務局としては考える中で、ある意味今お話のあったデマンドというキーワードもそういった方たちの利用を想定しているのかどうか、そういった声を拾うような仕組みがあるのかとか、そういったことも含めて、ただデマンドもエリア全域をやる場合もあれば、部分的な地域を決めた形でやる場合、いろいろな形がありますので、どういう運用が函南町の中で根づいていくのか。今はデマンドありきの話ではございませんが、コミュニティバスという形の循環線がきちんと機能するかどうか、そのために機能強化したもので出てくるある意味利用しづらい地域、ここに対する手当も考えなければいけませんので、ぜひ丁寧に実証期間中に中身を吟味していただけるとありがたいと思います。</p> <p>そのほか皆さん方、よろしいですか。</p> <p>それでは、ただいまいろいろとご意見をいただいたところでございますが、事務局提案という形の中で実証実験を変更しながら継続して利便性向上にかかる取り組みをご承認いただいたという形で進めさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>

(議題3：大場函南デマンドタクシー事業について(報告))

<p>藤井副会長</p>	<p>ただいまのご説明に対しまして、ご質問等がございましたら承りたいと思いますが、いかがでございますでしょうか。</p> <p>次年度は利用サービスをさらに改善していこうという形で、便数を増やすということでございます。資料の2ページに利用状況が出ていますが、収支率を参考値として出していただいておりますが、40%台というのはなかなか自治体さんでこの収支率を担保するというのは難しい数字でございます。大体が30%もしくは20%、これぐらいを目標としている自治体が多いです。そういった中では非常に効率的な運用がなされている。そういった数値として読めると感じます。</p> <p>これが先ほど事務局として、便数を増やすことによって、ある意味乗合率が担保さ</p>
--------------	--

	<p>れていたものが分散してしまうとか、もしくはさらに利用しやすい時間帯に増えたことで利用者数をどういった形で取り込むのか、その辺の見極めも含めた形での今後の対応ということでございますので、その辺、ご理解をいただけるといいかなというところかと思す。</p> <p>いかがでしょうか。特によろしいですか。</p> <p>それでは、次年度に向けて継続的にまたこの会議におきましても実績等をご報告いただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
--	---

(議題4：丹那小学校区高校生の函南中学校スクールバス利用について（報告）)

藤井副会長	<p>ただいまのご説明に関しまして、何かご意見、ご質問等があればお伺いしたいと思いますが、いかがでございましょうか。特にございせんか。</p> <p>また私のほうからですが、スクールバスの利用はいろいろな自治体でチャレンジしています。空き時間活用は結構いろいろな自治体さんで取り組まれているのですが、混乗化に取り組んでいる事例は極めて少ないです。特に一般混乗化は全く手がかからないところが首都圏では多いです。</p> <p>そういった中で、私も今24の地域公共交通会議を抱えているのですが、その中で、一般路線バスを通学時間帯に合わせて子どもたちの通学支援型バスといったような時間帯設定をして運用している自治体さんがあります。</p> <p>スクールバスに着目すると、高校生にアプローチしたところは、検討したけれども教育委員会アウトといったところでほとんど進んでいません。そういった面では極めて稀有といえますか、地域サービスとして高校生、中学校を卒業したらいきなり一般人という形の運用をされてしまう。免許も持っていない子どもたちはどうやって移動するのかといったところにこういう支援型のものがあるというのはとてもいい取り組みだなと。</p> <p>特に今中学校の中ではスクールバスをやめる自治体も千葉県の中では出てきています。親御さんが全部送迎するという形に切り替わっています。これは何かというと地域の安全性なのかよくわかりませんが、公共交通を利用しない仕組みに変わってってしまうという懸念するような自治体さんも出てきています。</p> <p>そういった中で、地域公共交通をきちんと使うといった、そういったスクールバスの1つのバスに乗る仕組みが高校生にもあるということはとてもいいことだと思いますので、これは函南の中で、これは次年度以降も継続するということですので、ぜひ進めていただけるとありがたいと思います。</p> <p>特によろしいですか。それでは報告事項は以上で終了させていただきます。</p>
-------	---

(議題5：その他)

藤井副会長	議事の5番目、その他ですが、何かございますでしょうか。
山中委員	全体的な計画案はお聞きしましたが、これは議会に対して議決事項ではありませんね。つまり説明だけをすればいいということですね。ほかにもし言いたいことがあれば一般質問しろということですね。わかりました。以上です。

藤井副会長	そのほかいかがでございましょうか。よろしいですか。 それでは、私がお預かりしました議事は以上で終了いたします。佐野会長に会議の進行を戻させていただきます。どうもありがとうございました。
佐野会長	藤井先生、ありがとうございました。いろいろと先生の知見に基づいてご意見をいただきました。ありがとうございます。

(以上)